

平成29年度 消防長の目標宣言

部長メッセージ		消防長 吉川 敏勝
<p>災害や事故の形態も複雑多様化し、台風などの自然災害が全国各地で発生し大きな被害となっています。さらに、地震発生が危惧されているなかで、消防が担う役割は重要なものとなっています。こうした状況のなか、あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守るという消防の責任を果たすため、災害活動時における対応能力の充実強化を図ります。</p>		
部の主な役割	部を構成する課等	
火災予防の推進 救急体制の充実 消防体制の強化充実	消防総務課 警防救急課 予防課 警備1課 警備2課	

部の取組方針	
1	<p>【火災予防の推進を図ります】</p> <p>市民の防火意識の高揚を図るとともに、住宅用火災警報器設置率の向上を図り、事業所や危険物施設に対しては、防火査察指導を実施し防火対策の推進を図る事により、火災発生件数の減少を目指します。</p>
2	<p>【救急体制の充実をします】</p> <p>応急手当や普通救命講習会を実施し、市民の多くの皆さんに、救急技術の習得をしていただき、AEDの有効活用のための登録制度の推進や消防職員の専門的な知識技術の習得に努め、救命率の向上を目指します。</p>
3	<p>【消防体制の強化充実をします】</p> <p>消防水利の脆弱地域に消火栓の設置、消防署・消防団の消防車両の機能・性能を確保するための更新、資機材や消防団車庫待機室の整備を進めます。また、老朽化している消防庁舎の整備の方法等について検討を進めます。</p>
4	<p>【近隣市との消防の連携強化を図ります】</p> <p>新東名高速道路、246 バイパス等の開通や大規模災害に対応するため、近隣市と災害対応について連携の強化を進めます。</p>

具体的な取組と達成目標				進捗状況 達成状況
NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	
1	火災予防の推進 (予防課) (警備1課) (警備2課)	住宅用火災警報器の設置促進と維持管理の啓発を実施します。 事業所の防火査察の実施を実施し、防火管理体制の充実を図ります。 火災発生件数の減少に取り組めます	住宅用火災警報器設置率 目標設置率 81% (平成28年設置率80%) 立入検査実施目標棟数 年間 400棟 建物火災発生件数目標 13件以下 (過去3年間の平均以下)	
2	救急体制の充実 (警防救急課) (警備1課) (警備2課)	救命講習会を開催し救急技術の向上を目指します。 職員の救急救命士の養成を行います。 救命率の向上を目指します。 (救命率:心肺停止より病院搬送時回復した率)	救命講習会 年間予定回数 150回 参加者目標 5,000人 救急救命士養成 1名 救命率 31.1%以上 (過去3年間の平均以上)	
3	消防体制の強化充実 (警防救急課) (消防総務課)	消防水利の新設、消防車両の更新を行います。 消防団員の災害活動のため、車庫待機室の整備、活動資機材の整備を行います。 消防庁舎の整備について検討を進めます。	消火栓新設 2基 高規格救急車 1台 小型動力ポンプ積載車 2台 第4分団第2部車庫待機室整備(建設工事完成) 防火衣 45着 エンジンカッター 5台 拡声器 9台 消防庁舎整備方針の検討	
4	近隣市との連携 (警備1課) (警備2課) (警防救急課)	大規模災害に対応するため、近隣市と災害対応について、合同訓練等により連携の強化を進めます。	合同訓練の実施	